

442年振りの天体ショー

2022年11月8日、皆さんは夜空を見上げましたか？

この日は月が地球の影に完全に入って赤銅色に見える皆既月食に加え、天王星が月に隠れる「天王星食」が足助でもきれいに観測することができました。



皆既月食中に惑星食が起きるのは1580年7月以来442年ぶり。442年前と言えば戦国時代真っ只中。当時の人達はどのような思いで眺めていたのでしょうか。

ちなみに次回皆既月食が見られるのは2025年9月5日、また皆既月食と惑星食が同時に見られるのは2344年だそうです。(鈴木悠太)



442年振りの天体ショー

あすっこ紹介

天野敬一さん・正直さん・祥宏さん・結斗くん・遥真くん

足助の名スポット紹介

香嵐溪一の谷

読者のみなさんの“声”



新校舎（平成 17 年～現在）

前号（第 41 号）に引き続き、開校 150 年を迎える小学校のうち、明治 6 年（1873 年）に創立した冷田小学校を特集します。今回は、4 世代に渡って冷田小学校を学び舎としてきた天野敬一さん（92 歳・昭和 18 年卒業）、正直さん（69 歳・昭和 41 年卒業）、^{よしひろ}祥宏さん（38 歳・平成 9 年卒業）、^{ゆうと}結斗くん（10 歳・4 年生）、^{はるま}遥真くん（8 歳・2 年生）ご家族に冷田小学校にまつわるお話をお聞きしました。

■小学校の思い出や楽しかったことを教えてください。

敬一さん 太平洋戦争中だったため、運動場に芋を植えたり、防空壕を作ったり、竹槍訓練など大変でした。

昭和 20 年の三河地震で木造校舎の一部が壊れたことも記憶に残っています。苦労した分、郷土を愛する力は強くなりました。

正直さん 5 年生の時に東京オリンピックがあったので、旧足助町内の小学生が足助小学校に集まってスポーツ大会をしたことを覚えています。とはいえ、学校生活よりも登下校の記憶の方が強いですね。山道でクワガタが取



スケート教室

り放題だったので、筆箱に入りきらず、帽子の中に入れて歩いていました。

祥宏さん 生徒数が少なく 3・4・5・6 年生合同でキャンプをしていたので、毎年キャンプに行けたのは楽しい思い出ですね。

結斗くん 2 月にスキー教室があるので楽しみです。

祥宏さん 自分たちのときは香嵐渓スケートセンターでスケート教室でした。

正直さん スキーとかはなかったですが、夏に浜名湖へ臨海学習に行きましたね。





■給食は何が好きですか？

結斗くん 1位がから揚げ、2位がカレー、3位が納豆チーズ。

遥真くん とんこつラーメンとさわらのから揚げ。

祥宏さん 納豆チーズはなかったですね。(注：納豆チーズ(納豆あえ)は昭和50年頃に考案された豊田市オリジナル献立のため、豊田市との合併前にはなかったと思われる)

敬一さん 週1回の豚汁が本当に美味しかった。冬はアルミの弁当箱を焼き網に乗せて温めていましたが、よく焦げていましたね 笑



田んぼで簡易プール



雪の冷田小学校旧校舎

■夏や冬はどのような学校生活でしたか？

結斗くん エアコンがあるので快適です。

祥宏さん 冬は石油ストーブだったかな。大雪も年に数回程度だったので、そのときは授業がソリあそびになって楽しかったですね。

正直さん 低学年の頃は薪ストーブで、途中からコークスに変わったかな。雪は長靴に入るほど多かったね。

敬一さん 暖房器具は、火鉢が職員室にしかなかったため、何かと理由をつけて職員室に行っていましたね。

祥宏さん 夏の時期、父と自分の間の世代は田んぼにビニールシートを敷いて簡易プールを作っていたそうです。



川の調査

■冷田小学校の特徴や150年という歴史に何を感じますか？

祥宏さん 今、冷田小学校では1・2年生が自然観察、3・4年生が川の調査、5年生が米づくり、6年生が地域の歴史学習と、地域の豊かな自然を生かした学習をしているため、子どもたちがのびのびと育つことのできる環境だと思います。

正直さん 現在の新校舎は平成17年に完成しましたが、そこに至るまでに本当に多くの苦労がありました。昭和31年建築、木造2階建ての旧校舎は危険校舎として建て替えが急務となる一方、児童数が減少する中で新校舎建設の是非が町議会で問題となり、冷田小学校の存続が危ぶまれました。そこで、住宅地開発やふれあいフェスタ冷田の開催など若者家族のI・Uターンに向けた活動を地域が一丸となって進めた結果、現在の冷田小学校に歴史がつながったと思います。

小学校創立150周年を契機に、こうして築き上げた熱き想いを次代に継承し、冷田小学校が将来にわたって地域の核であり続けられるよう願っています。

(川口純)



旧校舎(大正5年～昭和31年)



旧校舎(昭和31年～平成16年)

【足助の名スポット紹介】



📍 1月初旬、香嵐溪の奥座敷に位置する『一の谷』を訪ねた。
落部から車で入って行くと店舗前の駐車場にはゲートがあり、
駐車券を取ると遮断器が上がる。150台の大駐車場は一の
谷を利用すれば無料だ。

門松が飾られた玄関から奥へと進むと、巴川に面した食事
スペースが広がった。以前の一の谷を知っている人であれば、
広々としたその空間の変革に驚くだろう。だが、全てが刷新
されたわけではない。柱、梁、天井など『古き良き』を活かし
てリフォームされている。

昭和40年創業の一の谷は、物流事業を営むホンダロジコ
ム株式会社(本社:春日井)の地方創生プロジェクトにより、令
和3年7月にリニューアルオープンした。和風メニューの料
亭に加え、洋風メニューのダイニングを新設。トレーラハウスの
グランピングと、テントサイト、バーベキュー場によりアウト
ドアにも対応し、客層の裾野を広げる。

昨年8月には、リニューアルオープン時に続いて『第2回香
嵐溪一の谷フェスタ』を開催した。一の谷には地元の出展者
やキッチンカーを呼び、香嵐溪広場では2日間のステージイ
ベントを企画。「一の谷を通じて新しい人の流れをつくりた
いです。イベントの開催で地域みなさんに喜んでいただ



きながら、秋以外にも楽しいと思ってもらえるよう色々と情
報発信に取り組んでいます。地元みなさんが口を揃えて
言われるように新緑がすごくきれいですね」と話すのは
社長の各務 良さん。足助祭りでは落部の鉄砲隊に参加し
たそうだ。「足助には、継続的に盛り上げようとがんばって
いる地元の方々がいらっしゃるの、コラボできると面白い
ですね」とも。

ダイニングでは、四季に合わせて変わる旬の食材を使っ
たメイン料理と小鉢を選択でき、何度来ても楽しめる。
コーヒー、紅茶、スイーツなどのカフェメニューもあるので、
気軽に立ち寄ってみて欲しい。(高木伸泰)

住所：豊田市足助町一の谷2番地

電話：0565-62-0508

ホームページ：https://ichinotani1.com/



読者のみなさんの声をご紹介

読者アンケートのご意見・ご感想の一部を紹介します！他にもたくさんのご意見をいただいでい
ます。QRコードでスマホからアクセスしてご覧ください。

- 表紙(鬼の棲まう岩谷)：ぜひ行きたいと思わせる写真と記事の内容でとてもよいと思います。／岩谷の観音
様に行ってきました。
- 開校150年記念第2弾：足助小学校S38年卒ですが、講堂を今も体育館として使っているとあり、びっくりです。当時
の講堂は中学校と共用で、相互に調整して使用していました。学芸会や映画会など懐かしいです。一度見学したいですが、
今は小学校も基本的に閉鎖し、非常ベルも設置され、自由に出入りが出来なくなっているので残念です。OBの小学校見
学ツアーも活性化の一案となれば!!
- 名スポット紹介(よりみち)：足助でこんな福祉活動が行われていることが分かり、ぜひ立ち寄りたいと思いました。／地
域柄、木工が盛んな様ですので、利用者の方も楽しみですね。
- その他：次回の特集が楽しみです。／足助から飯田方面、御嶽山方面が好きでジムニーで林道などを走る事が楽しみです。



ご意見ご感想